

7、熊本縣代表挨拶  
の爲結束して運動を續けよ

創生會の運動も愈々本筋に入つた様に思ふ、政治の中樞にある機關に對し何等の期待も持ち得なくなつた、日本の現狀を立直はす爲に創生會の結束が必要である。議會終了後岡田首相は農村法案の審議未了は國民全體が通過を欲していなかつた爲で今の日本はそれ程行詰つてはゐない。然し責任は感じてゐる、吾々は軍要法案審議未了の責任を問ふと共に、金も名譽も命もいらぬ只首相の椅子に墜り付いてゐる現狀を黙つて居れない、こう言ふ意味から創生會の運動も本筋に入つた感がする肥料値下げ問題は現在の經費組織の狹窄に向つて突撃路を造るものだ、この突撃路を開いてこそ至國民の進撃が出来るのだ、命を賭して戦ふ事を誓ふ、その準備も出來て

ある。

8、佐賀縣代表挨拶

淺薄なる現在の軍臣共が明治の維新をやつたから僅か七十年で行詰つたではないか、東北の農村は涙なくしては見れぬ。國際情勢はどうか、政府は何たる醜態か、私は或る決意を以つて清水先生に相談した處非合法では無い馬鹿と大喝されて引下つたが合法的にやらねばならぬ。警察では吾々を刑事被告人の如く取扱つてゐる警察官の淨化を圖らなければいけない

9、座長選舉(司會者一任)

熊本縣創生會長

十時 榮三郎

10、協 議

一、「皇道を世界に闡明し、道義精神の徹底を期す」を綱領の